

和歌山県立医科大学大学院保健看護学研究科 博士前期課程

令和7年度入学試験

専門科目 問題冊子

注 意 事 項

1. 受験番号と氏名を解答冊子の表紙の指定の場所に記入しなさい。
指定の場所以外に記入してある場合は、全答案を無効とします。
2. 解答は所定の解答欄に横書きで記述しなさい。
3. 問題冊子の最後にある下書き用紙は問題冊子から切り離しても構いません。
4. 提出するのは解答冊子だけです。問題冊子は持ち帰りなさい。

I. 下記の資料は、「世帯構造別にみた 65 歳以上の者のいる世帯数の推移」(表 1) と「高齢の親への援助に関する考え方」(図 1) である。この資料を用いて、以下の設問に答えなさい。

表 1 世帯構造別にみた 65 歳以上の者のいる世帯数の推移

	全世帯数	65 歳 以 上 の 者 の い る 世 帯							
		総 数	全世帯に 占める 割合(%)	単独世帯	夫婦のみの 世帯	親と未婚の 子のみの 世帯	三世代 世 帯	その他 の世帯	(再掲)
									65歳以上の 者のみの 世 帯
推 計 数 (千世帯)									
平成 4 年(1992)	41 210	11 884	28.8	1 865	2 706	1 439	4 348	1 527	3 666
7 ('95)	40 770	12 695	31.1	2 199	3 075	1 636	4 232	1 553	4 370
10 ('98)	44 496	14 822	33.3	2 724	3 956	2 025	4 401	1 715	5 597
13 (2001)	45 664	16 367	35.8	3 179	4 545	2 563	4 179	1 902	6 636
16 ('04)	46 323	17 864	38.6	3 730	5 252	2 931	3 919	2 031	7 855
19 ('07)	48 023	19 263	40.1	4 326	5 732	3 418	3 528	2 260	8 986
22 ('10)	48 638	20 705	42.6	5 018	6 190	3 836	3 348	2 313	10 188
25 ('13)	50 112	22 420	44.7	5 730	6 974	4 442	2 953	2 321	11 594
28 ('16)	49 945	24 165	48.4	6 559	7 526	5 007	2 668	2 405	13 252
令和元 ('19)	51 785	25 584	49.4	7 369	8 270	5 118	2 404	2 423	14 856
構 成 割 合 (%)									
平成 4 年(1992)	.	100.0	.	15.7		12.1	36.6	12.8	30.8
7 ('95)	.	100.0	.	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2	34.4
10 ('98)	.	100.0	.	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6	37.8
13 (2001)	.	100.0	.	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6	40.5
16 ('04)	.	100.0	.	20.9	29.4	16.4	21.9	11.4	44.0
19 ('07)	.	100.0	.	22.5	29.8	17.7	18.3	11.7	46.6
22 ('10)	.	100.0	.	24.2	29.9	18.5	16.2	11.2	49.2
25 ('13)	.	100.0	.	25.6	31.1	19.8	13.2	10.4	51.7
28 ('16)	.	100.0	.	27.1	31.1	20.7	11.0	10.0	54.8
令和元 ('19)	.	100.0	.	28.8	32.3	20.0	9.4	9.5	58.1

資料 厚生労働省「国民生活基礎調査」(大規模調査)

注 1) 平成 7 年の数値は、兵庫県を除いたものである。平成 28 年の数値は、熊本県を除いたものである。

2) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」および「ひとり親と子のみの世帯」をいう。

『国民衛生の動向 2022/2023』より引用

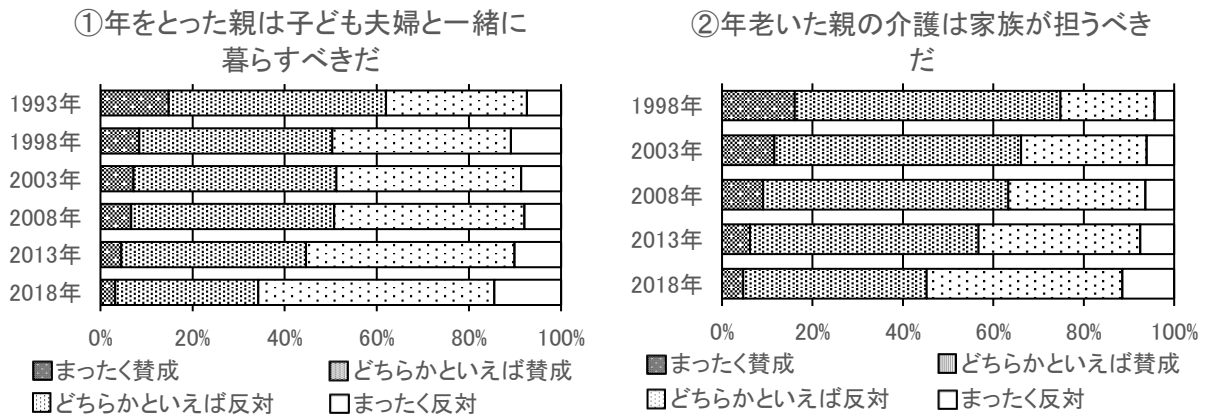


図 1 高齢の親への援助に関する考え方

資料：国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」

(注) すべての年代の有配偶女性を想定した調査であり、結果の集計は有配偶者女性に限って行われている。

『令和 2 年度厚生労働白書』データより作成

問 1 表 1 から読み取れることを述べなさい。

問 2 図 1 を表 1 と関連づけて、読み取れることを述べなさい。

Ⅱ. ある会社の検診において、「辛いものを好むか」と「お酒をよく飲むか」の2つの質問をしたところ、100人から回答を得られた。そのうち、「辛いものが好き」な人は70人、「お酒をよく飲む」人は66人であった。また、「辛いものが好き」で「お酒をよく飲む」人は60人であった。

「辛いものを好むか」と「お酒をよく飲むか」に関連があるかどうかを判断するために、以下の表を使い検定したいと考えている。検定を進めていくうえで、以下の設問に答えなさい。

問1 セルa、b、c、d、eに入る数字を記載し、以下のクロス集計表を完成させなさい。

	辛いものが好き	好きでない	合計
お酒をよく飲む	60	a	66
飲まない	b	c	d
合計	70	e	100

問2 セル①、②、③、④の期待度数を求めなさい。

	辛いものが好き	好きでない	合計
お酒をよく飲む	①	②	66
飲まない	③	④	d
合計	70	e	100

問3 この表の自由度を求めなさい。

問4 このデータをもとに出力されたP値は0.05を下回った。この結果が意味することを述べなさい。

Ⅲ. 下記の表は、ある地域の1か月の平均降水量とその地域にある印刷会社の社員数である。この表を用いて、以下の設問に答えなさい。

表 ある地域の1か月の平均降水量とその地域にある印刷会社の社員数の年次推移

	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
降水量 (mm)	29	16	18	23	32	18	26	12	9	34
社員数 (人)	280	190	230	220	330	200	240	120	110	160

問1 降水量と社員数の年次推移を示すグラフを描きなさい。

問2 降水量と社員数との関係を示すグラフを描きなさい。

問3 降水量と社員数との関係を示すグラフから言えることを述べなさい。

IV. 文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題のこの部分は掲載しません。

著作権保護の観点から、問題のこの部分は掲載しません。

岡田正彦著「医療 AI の夜明け」より一部改変

- 問 1 著者が述べる「大波」と「余波」とは何かをそれぞれ述べなさい。
- 問 2 著者が他の箇所述べている深刻な過剰医療の実態とはどのようなものを述べるとともに、その問題点について 300 字程度で述べなさい。
- 問 3 理想的な医療 AI にはどのような要素が必要かを、著者の意見を踏まえて自身の考えを述べなさい。